



# 個々が躍動! 「体育祭」を開催しました

## ～魅せた3年次の団結力～

11月1日、2日の二日間、天候に恵まれた中で、本校の文化祭に次ぐイベントの「体育祭」を開催しました。

初日はドッチボールを皮切りにソフトバレー、バドミントン及びリレー競技を実施しました。いずれの競技も各クラス対抗により、学年の壁を越えて白熱した戦いが繰り広げられました。

二日目は体育館にて屋内競技を中心に、長縄跳び、綱引き、玉入れ、障害物競走、借り物競走を実施しました。特にエキシビジョンマッチでは、優勝チームと教職員チームとの対戦があり、各チームの応援合戦でも盛り上がりしました。

総合成績では、3年生が表彰台を独占し、クラスの団結力と先輩としての意地を見せてくれました。昨年はコロナ禍により、1日のみの体育祭でしたが、今年は生徒一人一人が活躍する体育祭となりました。



開会式での選手宣誓



熱戦スタート



気迫の一球



薄氷の勝利!



正々堂々と勝負



最後まで諦めず...



クラス対抗リレー

繋ぐ!!



教職員チームも奮闘!



円陣を組み一致団結!

一丸!!



善戦するも悔しい敗戦..



障害物リレー

苦しい炭酸一気飲み



企画・運営に尽力した実行委員



## ぞ報告 2年次修学旅行に行ってきました!



11月18日から2泊3日の日程で、2年次生が2泊3日の修学旅行に行ってきました。

初日は東北新幹線で函館に移動し、夕方には函館山から夜景を観賞しました。あいにくの雨模様でしたが、函館山に登る頃には天候も回復し、日本三大夜景の絶景を鑑賞することができました。

二日目は五稜郭タワー等の函館市内を観光し、午後は青森県に移動して三内丸山遺跡を見学しました。縄文時代の生活様式について学び、伝統文化や歴史遺産に触れることができました。

最終日の三日目は青森市内において、浅虫水族館やねぶたの家ワッセ等を見学しました。ここでは、実際に祭で使用されたねぶたを見ることができ、祭の歴史や魅力を体感することができました。

2泊3日の日程での修学旅行の中で多くの経験や体験を積むことができ、豊かな人間性を育むと共に、学年の団結力とクラスの交友関係を一層強固にすることができました。



函館・青森の歴史・文化を学びました

## PTA協働草刈りを実施しました

11月7日(日)、本校PTA行事の一つである「桜が丘の下草刈り作業」を実施しました。

本校では「桜が丘」という地名にちなみ、平成11年にPTAが中心となって本校裏山に約200本の桜を植樹しました。平成19年及び平成20年にも創立60周年を記念し植樹を行い、春のシーズンには花見の名所として、各年次生がホームルーム等を活用して散策を楽しんでいます。

6月の開催は雨で開催を見送ったことから、木々の成長の様子の確認も兼ねて、鎌や機械を使って下草刈りを行いました。



来年の桜の開花が楽しみです

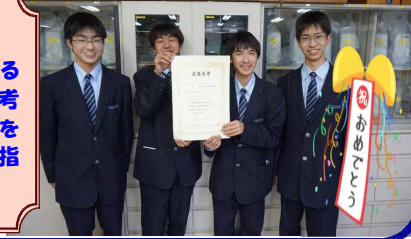
## 生徒理科学研究発表会にて最優秀賞!

11月2日(火)にオンラインで開催された令和3年度宮城県生徒理科学研究発表会で本校科学部1年次チーム(三浦君・熊谷君・佐々木君・岩渕君)が「ホンドリジゴミムシダマシが樹皮上を好む理由」という研究テーマで生物部門最優秀賞を受賞しました。

今後は、12月24日(金)に開催される最終選考会に出場し、来年度の全国総文祭への出場を目指します。

【今後の意気込みを聞きました】

今回の受賞に満足することなく、来る最終選考会に向けて、更に研究を深め、全国総文祭を目指します。!!



## 介護ロボット出前授業を実施しました

11月29日(月)、福祉系列2、3年次生を対象とした「介護ロボット出前授業」を実施しました。当日は、本校で福祉を学ぶ生徒たちへ“サンドウィッチマン”より、温かい励ましのメッセージをいただきました。(宮城県の介護の魅力発信のための活動の一環)

講師として仙台大学准教授の堀江竜弥先生を招聘し、実際に「認知症VR体験」、「コミュニケーションロボット体験」、「移動支援ロボット体験」を行いました。

これらの体験により、実際に「介護を受ける側」、「介護をする側」の立場に立ち、当事者目線で介護について考えることができ、貴重な体験を積むことができました。

今後、一層の高齢化社会が進展することとなりますが、介護人材の育成に向けて取り組んでいきます。



VRによる認知症体験



マッスルスーツ体験

## 収穫の秋! 農産物販売会を開催しました

11月27日(土)、農業学習の一環と地域貢献を目的として、農業選択生徒が丹精込めて栽培した、シクラメン及び野菜の販売会を開催しました。

小春日和の中、9時からの販売会開始に合わせ、地域の方々を中心に来場者で賑わいましたが、ハウスへの入場制限や手指使用毒の徹底により、感染症対策を万全にしました。

生徒もお客様の喜ぶ姿を見て、これまで栽培管理してきた努力と苦労が報われ、響ブランドをPRすることができました。



今後も「響きブランド」をPRします

## 宮城県本吉響高等学校

校訓 響生・知性・至誠

〒 988-0341

宮城県気仙沼市本吉町津谷桜子2-24

TEL0226-42-2627 Fax0226-42-2628



キャッチフレーズは "Make harmony"